

1 調査日 平成24年10月4日(木)

2 調査の概要

8月13日から14日にかけて本県を襲った集中豪雨によって、県南部、特に大津市南部地域では、土石流の発生などにより甚大な被害が発生した。土木交通部が所管する道路や河川、砂防などの施設においても、法面の崩落や路肩欠損、護岸の欠損などの被害を被ったところである。

こうした災害箇所の早期の復旧を図るため、本定例会において、関連の補正予算が上程されていることから、当該災害現場を視察し、被害状況や応急復旧状況、今後の工事の概要等について調査を行った。

(1) 大津市石山外畑地区災害現場(大津市石山外畑町地先)

立木観音前の国道422号の崩土現場において、崩土の状況や応急復旧状況などについて調査を行った。

また、大津市石山外畑地区では、土石流の発生状況や現場における応急復旧状況などについて調査を行い、石山外畑町の自治会役員の方々と意見交換を行った。



(2) 一級河川国分川災害現場(大津市南郷1丁目地先)

当該河川は、大津市の市街地を流れる中小河川であり、今回の集中豪雨によって、周辺地域への浸水や護岸の欠損などの被害が発生したことから、被害状況を調査するとともに、人家等が隣接する河川の復旧手法などについて調査を行った。

